特別支援学校のセンター的機能

北九州市教育委員会

特別支援学校のセンター的機能の５つの取組

1　訪問相談・来校相談	○　学校・園等の子どもへの支援や指導方法についての相談 ○　校内支援体制や個別の指導計画作成についての支援 ○　ケース会議等への参加
2　移行支援	○　小学校就学に向けた支援 ○　中学校進学に向けた支援 ○　個別の教育支援計画の作成や活用についての相談
3　公開研修会等の開催	○　学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修会や教材教具活用展等を公開
4　研修会等への協力	○　学校・園等の校内研修会についての相談、協力 ○　特別支援教育コーディネーター連絡会議に助言者として参加
5　教材等の紹介・貸出情報発信	○　検査器具、書籍、教材等の紹介や貸出 ○　検査後の結果処理や指導に生かす方法の相談 ○　ホームページ等で、センター的機能に関する情報や教材等の紹介

1　訪問相談・来校相談

○　学校・園等を訪問し、行動観察等による実態整理を行い、課題と取組の方向性を明確にします。また、校内支援体制や個別の指導計画作成への支援、子どもへの支援や指導方法等について相談に応じます。

○　必要に応じてケース会議等への出席や関係機関の紹介を行います。

○　来校する学校・園等の職員・保護者の相談を聞き、実態を整理し、課題と取組の方向性を明確にして在籍校・園等での指導に生かします。

訪問相談の流れ

①支援要請
- 校長間の連絡
- コーディネーター間の連絡
- 訪問相談チェックシート

→

②学校訪問
- 行動観察等による課題の整理
- 協議会
- 個別の教育支援計画等への助言
- 課題解決に向けた取組の提案

→

③支援の継続
- 支援の評価
- 引継ぎに関する助言

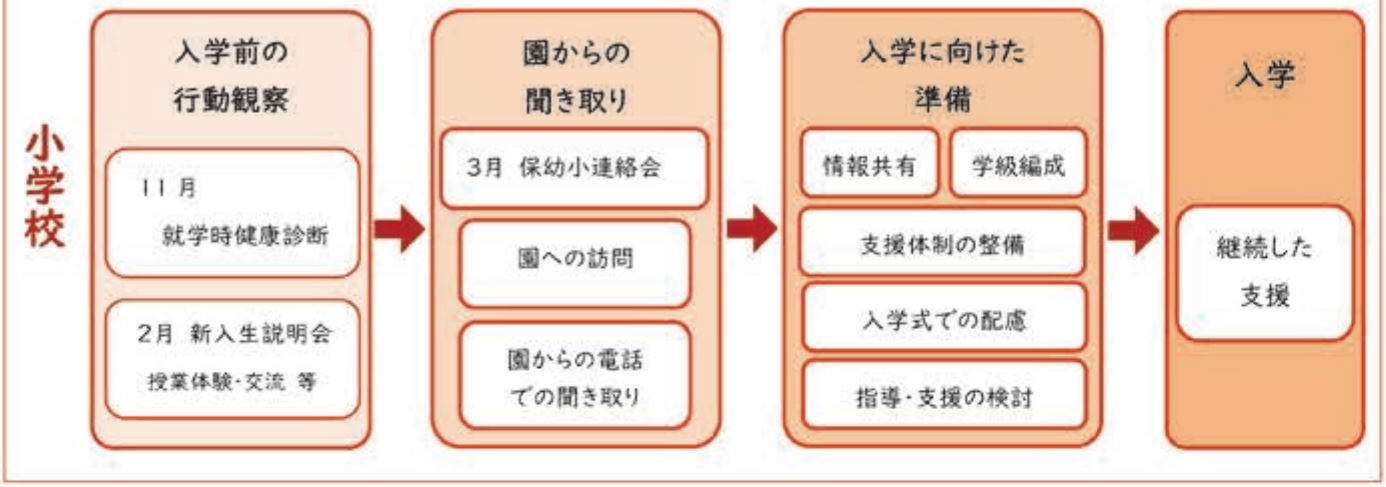
※　要請時に必要な**【訪問相談チェックシート】**は、各地区の特別支援学校のHPからダウンロードできます。詳しくは、担当の特別支援学校までご連絡ください。

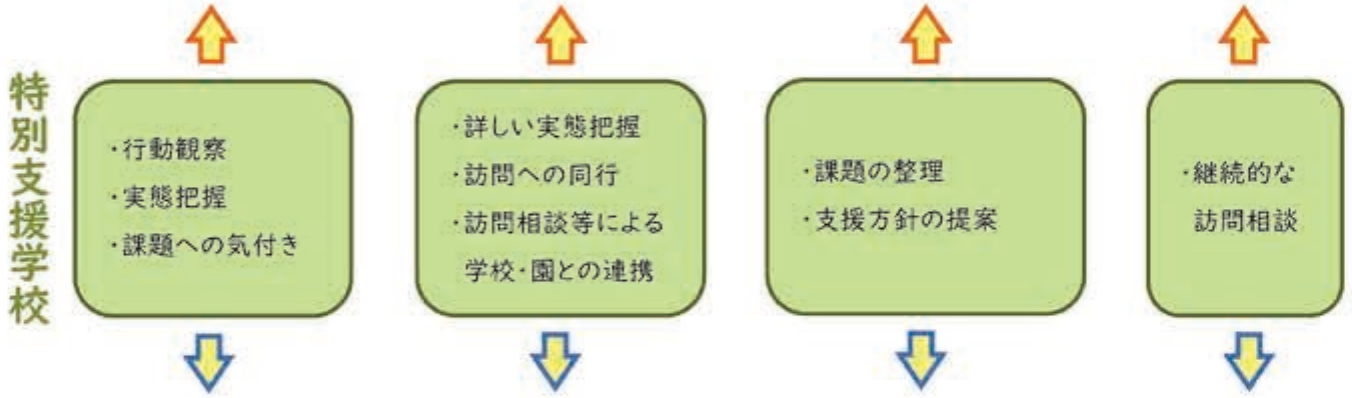
特別支援学校 HP

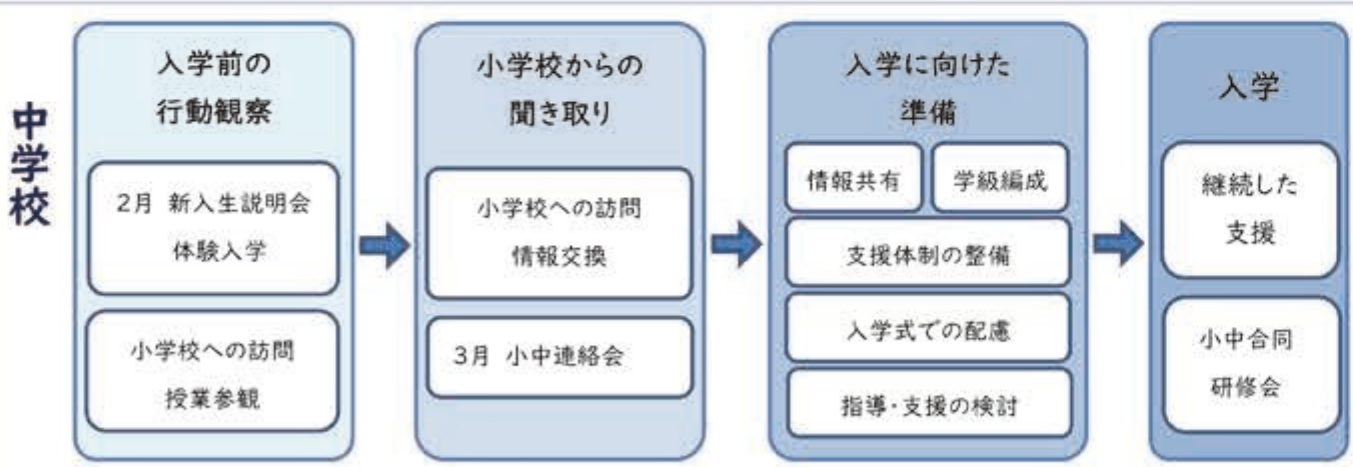
2 移行支援

幼稚園・保育所等から小学校への移行支援（就学時移行支援）

小学校の要請に応じて就学時健康診断や体験入学での行動観察、保幼小連絡会への参加等を行い、幼稚園・保育所等から小学校へのスムーズな移行を支援します。







小学校から中学校への移行支援

中学校の要請に応じて小学６年生の授業場面での行動観察、情報交換会への参加等を行い、小学校から中学校へのスムーズな移行を支援します。

3 公開研修会等の開催

○　学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修等を公開します。
令和７年度の様子をご紹介します。

「学齢期における不器用さのある子への学習支援」をテーマに、講演・ワークショップを行いました。

日　時：令和７年７月２５日（金）１３：３０～１６：１５
参加者：小学校・中学校・特別支援学校職員　計２５４名
方　法：リモートによる開催
内　容：1　講演　「学校で困る不器用さの背景とその対処法
～作業療法士（OT）の視点より～」
北九州市立総合療育センター　作業療法士　西園　みゆき　氏
2　ワークショップ
「学習用具（補助具）や運動等の紹介、活用方法」
① 学習における支援グッズ・教材の紹介
・鉛筆体操　・ビジョントレーニング
・学習支援グッズ　・机拡張板
② 姿勢保持における支援グッズ・教材の紹介
・姿勢保持支援グッズ　・正しい座り方のポイント
・運動・遊び・ゲーム　・T（体幹）T（体操）

～参加者の感想～
○　子どもたちが抱えている「不器用」に対して「できない」ことばかりに目を向けるのではなく、どうすれば「できる」のか、教師が環境を整えてあげることが大切だということを、今回の講話を通して学びました。そのためにはまずできないことに対しての原因を考え、対応を考えていきたいと思いました。
○　ワークショップでは、夏休み明けから実践できるアイデアをたくさん知ることができました。教材の紹介だけでなく、データファイル等もアップしていただけるということで感謝しています。パワーポイント教材や運動などは朝自習等で早速取り入れていきたいと思います。
○　自分のクラスにも姿勢の崩れやすい子どもや体幹の弱い子どもがいるためとても参考になりました。姿勢保持のためのグッズなどいろいろと紹介していただいたので、児童の実態に合わせて試していきたいです。体幹トレーニングも積極的に取り入れていきたいです。
○　一人一人、子どもによって支援や教材が変わってくるのが特別支援教育の難しさだと思います。このような研修をしていただくことで、子どもと向き合ったときの教師側の支援の引き出しを増やしていくことができると思いました。

4 研修会等への協力

○　学校・園等の校内の研修会についてのご相談に応じます。

・学校のニーズに応じて、研修会の内容などを一緒に考えます。
・ご依頼の内容によっては、情報提供や関係機関等をご紹介します。

※　詳しくは、担当の特別支援学校にご相談ください。

5 教材等の紹介や貸出 ・ 情報発信

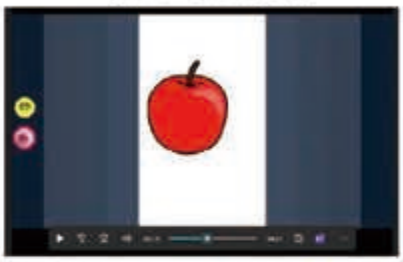
○ これまでの公開研修会で作成・紹介した教材です。

一斉指導で活用できる パワーポイント教材

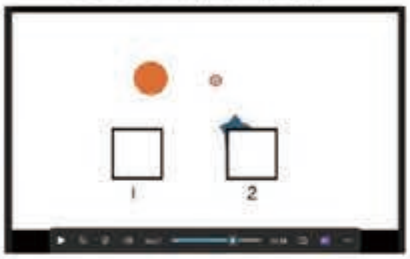
「ビジョントレーニング」

「○を追いかけよう」

「なにがとおった？」



「どこにいったかな？」

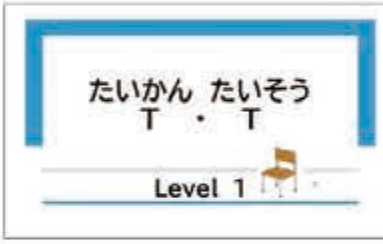


見る力を高めるトレーニング教材です。対象物をしっかり眼でとらえるには、見たいものに合わせて正確に眼だけを動かす必要があります。「○を追いかけよう」は○の動きをゆっくりと眼で追う練習を行います。「なにがとおった？」「どこにいったかな？」ではゲーム感覚で楽しく対象物を眼でとらえる練習ができます。

「えんぴつたいそう」

書字活動を円滑に行うための準備体操教材です。鉛筆を正しく持つことができるように、五指それぞれの役割に沿った動きを取り入れています。鉛筆1本あれば行うことができます。

「T（体幹）T（体操）」



椅子に斜めに座る、すぐに机に伏せる等、姿勢保持が難しいお子さんにおすすめの体操教材です。音楽に合わせてゆっくりと体を動かすことで、楽しく体幹を鍛えることをねらっています。 教室で、道具も使わず1分半程度で行うことができます。レベル1から3まであり、実態に合わせて活用することが可能です。

「強化段ボールの机拡張板」

整理整頓が苦手で机の上が道具でいっぱいになってしまうお子さんにおすすめの教材です。机につなげることで机が広く使えるようになり、学習が行いやすくなります。

「ばらして、くっつけて」

円、三角形、ひし形、台形、平行四辺形の求積公式を視覚的に理解できる教材です。図形を作り変える操作を自分で行うことで、面積の公式を実感することができます。

「かさねるくん」

かけ算の筆算の仕組みを理解し、一人で計算に取り組めるように支援する教材です。かけ算のステップごとに書き込むことで、複数の情報を一度に処理する負担を減らすことができます。

○ 検査器具・書籍・教材等の貸出については、各地区の特別支援学校にご相談ください。

検査器具：田中ビネー知能検査Ⅴ、ＷＩＳＣ－Ⅴ、ＤＮ－ＣＡＳ、ＬＤＩ－Ｒ、絵画語彙検査、ＷＡＶＥＳ、ＬＣＳＡ、ＳＴＲＡＷ－Ｒ、森田－愛媛式読み書き検査など

※ 特別支援学校のホームページにも作り方等を紹介しています。ご活用ください。

教育的ニーズに対応する役割に応じた相談支援体制

特別支援学校のセンター的機能

詳しくは、このリーフレットの各ページをご覧ください。

- 訪問相談
- 来校相談
- 就学時移行支援
- 小学校から中学校への移行支援

特別支援学校 ホームページ

子どもや学校に対する三段階の支援

「三段階の支援の図」については、石隈利紀「学校心理学」1999 を参考に改編。

特別支援教育相談センター

- 就学相談
- 通級相談
- 早期相談
- 教育相談
- 巡回相談

詳しくは、「北九州市の特別支援教育」のパンフレットをご覧ください。

※ 特別支援学級在籍の児童生徒についてのご相談は、特別支援教育課または特別支援教育相談センターにお問い合わせください。

特別支援学校 8 校の連絡先

	学校名（● 代表校）	住所・電話
東部地区（門司区・小倉北区・小倉南区・八幡東区・戸畑区）	● 門司総合特別支援学校【知的障害・病弱（心身症等）】	門司区矢筈町 13 番 1 号 TEL 372−6631
	小倉北特別支援学校【知的障害】	小倉北区下到津一丁目 10 番 7 号 TEL 592−2103
	小倉総合特別支援学校【肢体不自由・病弱（慢性疾患等）】	小倉南区春ケ丘 10 番 3 号 TEL 921−0075
	小倉南特別支援学校【知的障害】	小倉南区若園四丁目 1 番 1 号 TEL 921−5511
	北九州中央高等学園【知的障害】	小倉北区下到津一丁目 10 番 12 号 TEL 861−0112
西部地区（八幡西区・若松区）	● 小池特別支援学校【知的障害】	若松区大字小敷 583 番地の 1 TEL 601−1298
	八幡特別支援学校【知的障害】	八幡西区鷹の巣三丁目 7 番 1 号 TEL 641−8675
	八幡西特別支援学校【肢体不自由】	八幡西区下上津役四丁目 8 番 2 号 TEL 612−2210